

コープみらい第11回 通常総代会開催報告

コープみらいの重要事項を決める「第11回通常総代会」を、6月8日に京王プラザホテル（東京都新宿区）で開催しました。総代総数1277人中、1218人（本人442人、書面776人）が出席。4つの議案を提案し、いずれも承認可決されました。

第11回 通常総代会を開催

通常総代会は、組合員の代表である総代が、前年度の事業や活動を振り返り、次の1年の方針や予算などを決める最も重要な会議です。通常総代会に向けて、昨年11月・今年3月・5月に各地域で「ブロック別総代会議」を開催し、総代の皆さまにさまざまなご意見・ご質問をお寄せいただきました。一部オンラインでも開催し、書面やWebフォームなども使いながら、お互いの意見を知り、話し合うことを大切にして議論を進めてきました。いただいたご意見を反映し、通常総代会で4つの議案を提案しました。



① 4つの議案を提案

第1号議案

2022年度事業報告承認の件

国際情勢や経済状況により商品の値上げが相次ぐ中でも多くのご利用をいただき、総事業高4280億円、経常剰余金92億円、組合員数は369万人となりました。剰余（利益）を組合員の皆さまに還元するため、「コープのくらし応援全国キャンペーン」を実施しました。

宅配事業では、商品カタログ『ハピ・デリ！』をリニューアルし、より便利に利用できるよう改善しました。店舗事業ではより買い物しやすなお店づくりを目指し、9店舗を改装・改修しました。「コープデリグループのSDGs重点課題」の目標達成に向けて、「未来へつなごう」の取り組みを進めました。

第2号議案

2023年度事業計画・予算設定の件

組合員・消費者のくらしを守るこ

とを優先して取り組みます。より利用しやすい価格の商品や、より便利なサービスの提供を通じて、ふだんのくらしに貢献します。事業と組合員活動が連携した「コープみらいの総合力」を発揮し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。

コープデリグループの次期ビジョン「ビジョン2035」の検討を進めます。コープみらい10周年を記念し、セールの実施などさまざまな企画を行います。

第3号議案

定款の一部変更の件

※でいかん
全国大学生協共済生活協同組合連合会の解散と日本コープ共済生活協同組合連合会への学生総合共済事業の譲渡に伴い、定款の一部変更を提案しました。

第4号議案

役員選任の件

定款・役員選任規約に基づき、理事31人・監事6人を選任することを提案しました。

③ 全議案を承認可決



本人442人、書面で776人が出席し、全議案が賛成多数で承認可決されました。

役員体制について

総代会後に開催した第1回理事會にて、代表理事 理事長 熊崎伸、副理事長 永井伸二郎、古賀摩希子、代表理事 専務理事 河田喜一が決まりました。



7人の役員が退任し、新井前理事長があいさつしました

2022年度 出資配当金のお知らせ

2022年度の出資配当率が次の通り決まりました。

出資配当率 年0.2%

出資配当金は、出資金への振替でお支払いします。出資配当金のお知らせは7月3日週配付の「出資配当金のお知らせ」、店舗をご利用の方と宅配をお休みされている方は「はがき」でお知らせします。ご確認ください。

②「私からコープみらいへのメッセージ」発言

総代の皆さまから、議案に対するご意見やコープへの想いなど、234通の「私からコープみらいへのメッセージ（発言希望原稿）」が寄せられました。その中から7件のメッセージが発言されました。

● 20年以上前、同じマンションの方とグループを作り宅配を始めました。配達担当者は代わっていきましたが、それぞれの方に話題があり、感謝の気持ちでいっぱいです。

● 「子ども・子育て支援基金」の切手仕分けボランティアに参加しました。回収したはがきや切手がどのような経緯で支援につながるのか分かり、良い体験ができました。

● 宅配の「コープデリミールキット」は、ほぼ全員が発達障害を持つわが家にとって非常に分かりやすいレシピです。高齢者や他の障がいを持つ方にも使いやすい商品の開発を期待します。

● コープ若葉台店（東京都稲城市）が突然の閉店となり、残念で寂しいです。閉店時間を過ぎてもたくさんの組合員が別れを惜しんでいました。コープのお店にまた会えると信じて待っています。

● 特別支援学校の生徒たちの職場実習受け入れ・雇用数が増えているとのこと、とても喜ばしいです。まさにSDGsの見本です。今後、児童養護施設への支援も進めていただきたいです。

● 東京都中央区に引っ越し、友人も作れず不安に思っていました。が、「みらいひろば」に参加し、メンバーの方と仲間になれて、新しい街を身近に感じられるようになりました。素敵な「みらいひろば」を広く知っていただけるといいですね。

● 私たちは地域で平和の活動をしており、昨年コープみらいの協力のもと「ふるさと埼玉平和マップ」を発行しました。このマップを手に、多くの方に戦跡巡りをしてほしいです。

※1 組合員から回収した書き損じはがき・未使用切手などを換金し、国内外の子どもたちへの支援に役立てる取り組み
※2 組合員・地域の方が誰でも参加できる集いの場。各地域で基本月1回開催



発言された総代の皆さん

新理事長より ごあいさつ



代表理事 理事長
くまざき しん 熊崎 伸

組合員の皆さまの日ごろのご利用、ご協力に心より感謝申し上げます。6月に開催された第11回通常総代会では、2022年度の事業報告や2023年度の方針・予算、役員改選など全議案を承認していただきました。新体制のもと、事業と活動を通じて組合員の皆さまのくらしに貢献できるように、「未来へつなごう」をスローガンにさらなる取り組みを進めてまいります。

この間の価格高騰や国際情勢の悪化、気候変動、貧困と格差の拡大など、くらしを取り巻く状況はいつそう厳しさを増しています。このような時代だからこそ、コープみらいは助け合いの組織として、困難を抱える方々に寄り添う活動をさらに進めてまいります。

1年間で約200トンのお米をフードバンクなどへ寄贈する取り組みは、生産者への応援にもつながる活動です。またひとり親家庭の高校生等を支援する奨学金給付事業では、今年度1410人の奨学生を採用できました。いずれも組合員の皆さまのあたたかいご支援によるもので、あらためて感謝申し上げます。

コープみらいは今年誕生10周年を迎えました。この間、組合員の皆さまや職員の想いをもとに、コープデリグループとして次期ビジョン「ビジョン2035」の検討を進めています。これからも産地・メーカー、行政・諸団体とのパートナーシップを大切に、組合員の皆さまのくらしに貢献してまいります。